

造形演習 レポート4 実技課題3 取り組みのヒント

◎レポート4 実技課題3「点描」は、

「点」の粗密だけで身の回りにあるものを、細かくていねいに描く課題です。

レポートに細かく手順や、取り組みのポイントを載せていますが、手順の写真が小さくわかりにくいかもしれませんので、大きくしたものをつくりました。



1. 写真を選ぶ

雑誌などから好みの写真を選びます。

人物、動物、花、風景など何でも構いません。ただし、選ぶときには次のことに注意してください。

- ① 白黒のものがよい。
ない場合はコンビニなどでコピー（白黒、写真コピー）をしてくる。
- ② あまり黒っぽい写真は
点をたくさん打たないといけないので注意。
しかし、白すぎると点が打てず、描くことができないので白と黒の分量を考えて選ぶ。
- ③ 大きさはL版の写真サイズ、または
はがきサイズ～B6サイズくらいの
ものが適当。



2. トレーシングペーパーを写真の上に重ね 輪郭線などを写す

トレーシングペーパーは、スクーリングで取り組む方には、学校で用意しています。

写真の上に重ねて、動かないようにマスキングテープなどで固定し、輪郭線をていねいに写します。

この時、輪郭線以外にも明るさが変わっているところの目安の線など、細かく写しておく、後で点を打つ時にわかりやすくなります。





3. 写したトレーシングペーパーの裏面を 鉛筆で塗りつぶす

写した線を目安に、Bか2B程度の鉛筆で裏を軽く塗ります。

この時、あまり濃く強く塗りすぎると、せっかく描いた輪郭線がわからなくなってしまうので注意してください。

筆圧が強く、どうしても暗くなってしまう人は、あらかじめ輪郭線を赤鉛筆で書いておくと良いでしょう。



4. トレーシングペーパーを表に向けて、 用意した画用紙に固定し、 輪郭線などを写す。

画用紙にトレーシングペーパーを重ね、マスキングテープなどで固定し、輪郭線をなぞると写し取れます。

鉛筆の粉で汚れたところは、きれいに消しとっておきましょう。

うまく映らなかった部分は、元の写真(コピー)を見て確認しながら、丁寧に書き入れて補っておきましょう。



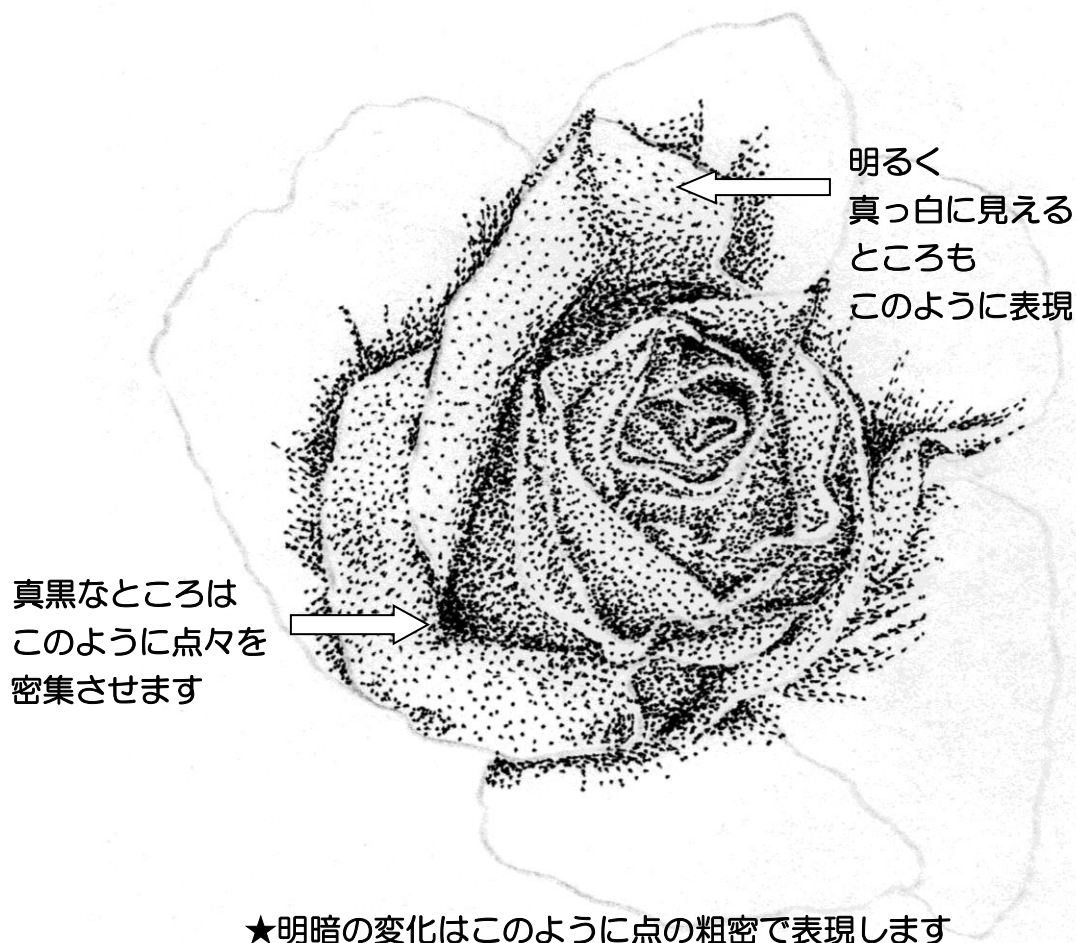
5. 点を打つ

元の写真(コピー)を見て確認しながら、
暗いところには間隔を詰めてたくさん点を打ち、
明るくなるにしたがって、点と点の間隔をあけて打っていきます。

できるだけ画用紙に対してペンを垂直に立てて打ち、
点の大きさをそろえるように心掛けると、綺麗な仕上がりになります。

真黒なところも塗りつぶさず、すべて点々で表現してください。
サインペンの太さは変えないで、同じ大きさの点で描くようにしましょう。
点々が打てたら最後に鉛筆の線を消し、バランスを見て完成です。

参考作品・・・この作品は未完成です。



★レポート5 実技課題4「Tシャツのデザイン」については、
スクーリング⑤で説明し、その際に参考作品もお見せします。
取り組みに不安のある方は、必ず出席してください。
出席できない場合は、直接、担当者のところに聞きに来てください。